

受けよう がん検診

明日の健康を、選ぶ

患者数、死亡数ともに増え続けているがん。早期に治療することで治る病気であることはご存じですか。市の保健師が、がん検診や早期治療の大切さについてお知らせします。

問合先 健康増進課



健康増進課
保健師 中島由実

**3人に2人は、がんと診断
3人に1人が、がんで死亡**

がんという病名はよく耳にしますが、「自分だけは大丈夫」と思っていない人、日本では、生涯のうちのがんと診断される人の割合は、男性で63%、女性で47%です。男性では約3人に2人が、がんと診断される計算になります。がんにかかる人も年を追うごとに増えており、30年前と比べて約3倍となっています（図1）。

またがんは死亡原因の1位であり、死亡者全体の28.7%ががんで亡くなっています（図2）。

大切なのは早期発見、早期治療

医療の進歩により、がんは治療できるようになってきました。早い段階で発見して治療を始めれば、完治することも少なくありません。体への負担や治療費も少なくて済みます。また、検診でがんを発見した人は、検診以外で発見した人より生存率が高くなるという統計もあります（図3）。

年齢が高い人の病気という印象のあるがんですが、最近では40代でかかる人も増えてきています。子宮頸がんのように20代でかかる人が増えているがんもあるなど、年齢に関係なく誰でもかかる可能性のある病気になってきています。

ところが、ほとんどの初期のがんには自覚症状がありません。このため、症状がないから大丈夫と思ってしまううちに病状が進行している事例も多く見られます。がんを早期発見するには、定期的に検診を受ける以外に方法はあまりありません。自覚症状がなくても、定期的に検診を受けることが大切です。

市の平成27年度検診では受診者のうち86人ががんが見つかり、治療を始めるきっかけとなっています（図4）。

受けていただけると、時期を選べるようにしました。早めの申し込みで都合の良い時期を選んで検診を受けることができます。

**検診費用は
高いものも2000円**

検診費用が過度な負担にならないよう、費用の一部を市や国が負担しています。最も高い胃がん検診でも個人負担は2000円に抑えています。子宮頸がん、乳がんなどの検診は、無料で受診できる場合もあります。

プライベートに配慮

プライベートに配慮し、案内や結果を個人ごとにお届けしているのも可見市の特色です。世帯にまとめてお届けするよりも費用や手間はかかりますが、結果の通知や事後指導が早くできるメリットがあります。

そのためには、病気の疑いがあった場合に少しでも早く医療機関にかかる必要があります。しかし、検診で精密検査が必要という結果が出た場合でも医療機関にかららない人がいるのが現状です。市はこれらの人へのケアが重要であると考え、事後指導にも力を入れています。具体的には対象者に連絡を取って病院に行くことを勧めたり、助成金などの手続きについて説明したりしています。直接お会いしてお話しすることもあります。

まずは、検診を受けましょう

可見市では、がんをはじめとした病気の早期発見・治療のために検診を行っています。平成29年度の案内を2月中旬から発送しますので、よく読んで申し込んでください。

「自分がかんにかからない」と考えるのではなく、「かかっていたら早く見つけて治そう」と考えてみてください。健康で過ごすことは自分のためだけでなく、大切な家族のためでもあります。定期的に検診を受けて、自分の健康を自分で守りましょう。

市は検診だけでなく、健康に関して不安を感じることなどの相談も受けています。運動教室や健康フェアなどのイベントでも啓発を行っていますので、気軽に相談してくださいね。

少しでも多くの人に受診してもらいたいよう、市は検診の仕組みを改善してきました。

以前は決まった時期に巡回する検診車での受診でしたが、現在は市内33カ所の医療機関から選べるようにしました。かかりつけ医を利用する人や、自宅から近い医療機関で検診を受けていただくことができます。検査ごとに医療機関を分けて受診することも可能です。

**忙しい人でも大丈夫、
受けやすい時期を選べます**

以前は誕生日の前後に検診を受けていたのですが、忙しい人にも

がん検診の目的は、がんを見つけることだけではありません。早期のうちのがんを見つけて適切な治療を受けることで、がんによる死亡者を減らす、健康的に暮らしていただくことが大切です。

「自分がかんにかからない」と考えるのではなく、「かかっていたら早く見つけて治そう」と考えてみてください。健康で過ごすことは自分のためだけでなく、大切な家族のためでもあります。定期的に検診を受けて、自分の健康を自分で守りましょう。

市は検診だけでなく、健康に関して不安を感じることなどの相談も受けています。運動教室や健康フェアなどのイベントでも啓発を行っていますので、気軽に相談してくださいね。

図4 市の検診受診者数とがんが見つかった人数 (平成27年度)

病名	受診者	見つかった人
胃がん	5,946人	9人
大腸がん	8,903人	16人
前立腺がん	2,405人	39人
肺がん	6,015人	8人
子宮頸がん	3,420人	0人
乳がん	2,842人	14人

図3 がんと診断されてから5年後の生存率

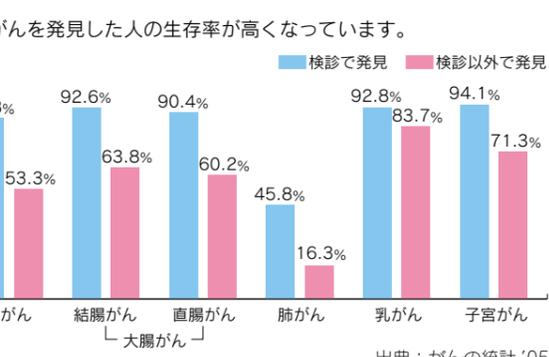


図2 主な死亡原因

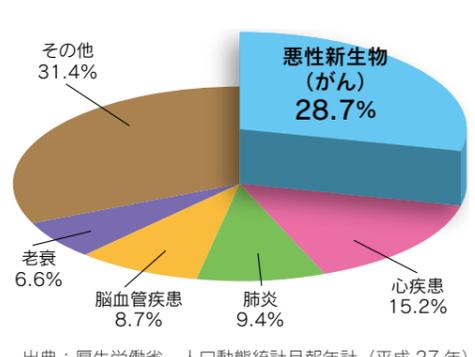


図1 がんにかかる人の推移

